自然体で暮らす／いなか王国・高知県安田町

まんま

Vol.11

Enjoy Country Life
YASUDA CHO

「第11号」2009 NOVEMBER 11

ふるさと百景
安田町今昔物語

▲高松太郎（坂本直）

安田町

幕末の世。
この町に国を憂い、新しき世を創ろうと、
高き志を掲げてその身を懸けた男たちがいたことを
私たちは誇りに思います。

Contents

3 輝るぽーと安田、完成!!
地場産品販売センター「土佐の元気市」
レストラン・ラポール●岡林実シェフ

7 青年・坂本龍馬を育んだ
心のふるさと、安田町
・高松順蔵と龍馬の長姉・千鶴、岡本寧浦ら
・大正生まれの瀟洒な洋館「旧市川医院と柏原邸」

10 町に創ろう！雇用と活力
安田町地域雇用創造協議会
推進員●西山雅人さん

11 今昔写真館

12 野根山事件

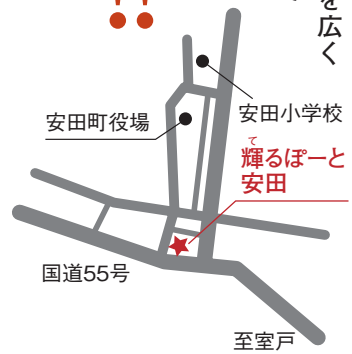
13 特集◎安田町橋マップ

人と人、
人と暮らしを輝らす
港として

総合交流拠点施設

輝るぽーと安田、完成!!

安田町の玄関口にあたる、国道55号沿いにできた総合交流拠点施設「輝るぽーと安田」。日用雑貨や食品、鮮魚などを販売する地場産品販売センター棟と安田町や高知県の食材を生かした料理を提供するレストラン棟があります。9月に完成し、レストランが先行営業、11月に全施設がオープン。完成を祝う餅投げやフルオープン時には、町内外の多くの人で賑わいました。住民の暮らしを支えるとともに、町の魅力を広く発信する施設として期待されています。



●地場産品販売センター
土佐の元気市

町の人に喜ばれる店づくりを

安田町の産品や生活必需品を販売する「土佐の元気市」。町内にスーパーマーケットがなくなり、買い物の場に困っていた町民にとって開店が待たれていたお店です。

店に並ぶのは、町内で採れた新鮮野菜のほか、地場産品や加工品、「味工房じねん」の田舎寿司など安田町ならではの味が並びます。日用品や生活雑貨も勢ぞろい。

運営するのは、町内の女性グループ「みきグループ」の皆さんです。代表の小松美喜さんは、「地元の皆さんに愛されるお店として、期待にこたえられるよう頑張りたい。営業時間が長いので、便利に利用していただけると思う」と意気込みを話します。

「みきグループ」
代表の小松美喜さん

土佐の元気市 TEL.0887-38-3320
定 休 日:毎月第3水曜日
営業時間:8時30分〜18時

魚 輝 定 休 日:毎週土曜日
営業時間:11時ぐらい〜18時

●魚輝【うおてる】

鮮度抜群の魚が安い!!

冷蔵ケースの中には室戸や安田で水揚げされた魚がズラリ。どれもぴちぴちとして鮮度抜群で、しかもかなり買いやすい値段です。「地元の人に気軽に買いに来てもらいたいから、日替わりでなるべく違う魚を並べています。少人数でも食べきれるよう、小分けで販売も」と店主の前田真一さん。たたきは藁焼きにこだわるなど、魚をおいしく食べてもらうための心配りがうれしい魚屋さんです。

魚輝 前田真一さん

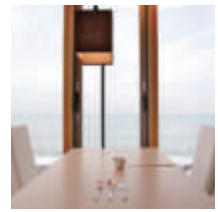
●レストラン・ラポール

Restaurant Rapport

シェフ岡林　実さん

食を通じて多くの人と安田町を結ぶ架け橋に

太平洋が一望できるガラス張りの店内で、雄大な景色を眺めながらヘルシーでおいしい料理に舌鼓。そんなフレンチの店、レストラン「ラポール」をプロデュースする岡林実シェフに話を聞きました。



プロフィール
岡林 実
Minoru Okabayashi

昭和24年生まれ、いの町出身。
高知市内にて、ビストロ ムッシュ ミノル、レストラン アルブル等、ミノルグループ4店舗を経営。平成10年、フランス・パリ日本大使館大使公邸にて土佐和牛と土佐ジローを使用した晩さん会を開催するなど、県産食材を使ったフランス料理の数々を生み出してきた。

安田町長からレストラン開店の話を聞いた時の気持ちは?

岡林●とてもうれしい誘いで、躊躇(ちゅうちょ)なくお受けしました。ただ、それまで自分が持っていた安田町の印象が「山・川」のイメージだったので、海から山までさまざまな表情を持つ地域なのだと改めて知りました。それだけに食材もバラエティに富んでいて、新鮮な野菜やアユはもちろん、海の食材にも恵まれている。料理人としてやりがいのある場所です。

店のコンセプトは?

岡林●「ハイブリッド・キュイジーヌ」、つまりフランス料理が基本ですが、その枠にとらわれず、和の食材も組み合わせた料理を提供します。味噌や醤油などの調味料も使うし、かつお出汁も合わせる。従来のフランス料理よりはずっとヘルシーだし、お年を召した方にもおいしく食べていただけると思います。

気になる食材、使いたい素材はありますか?

岡林●「イノシシがおいしい」「シャモが有名」「おいしい文旦も」と地元の方がいろいろと教えてくださいます。安田町の定置網で捕れる魚にも興味がある。どんどん、取り入れていきたい。また、来年は「龍馬伝」の年ですから、それにちなんでシャモを使ったあたらしいメニューに取り組みたいと思います。

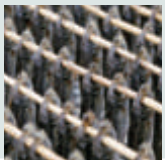
イノシシを使ったパスタ

文旦を使ったタルト

これからやりたいことと、店の目指す方向は?

岡林●抜群のロケーションを生かして、ウェディングやパーティーも手掛けていきたいですね。料理教室も開きますよ。〝やさしい料理〟の提供をモットーに、「ラポール(架け橋)」の名のとおり、地元の方や観光客と安田町を結ぶ架け橋のような存在の店にしていきます。

レストラン・ラポール
TEL.0887-38-5331
定 休 日:毎週水曜日
営業時間:9時～21時
(ラストオーダー20時30分)



レストランで食材として使われるちりめんじゃこも、土佐の元気市で販売。「安田町沖で捕れた鮮度の良いものだけに味は格別。天日干しの干物もぜひ味わってほしい」と製造する浜川海産の濱川真一郎さん。

坂本龍馬

青年・坂本龍馬を育んだ 心のふるさと、安田町

高松順蔵と龍馬の長姉・千鶴 岡本寧浦ら

来年のNHK大河ドラマ「龍馬伝」で盛り上がる高知。安田町も、実は龍馬とはゆかりの深い土地柄です。安田町への思いを表わすかのような龍馬の手紙も残ります。龍馬と安田町のかかわりについて、その歴史をひも解いてみました。

坂本龍馬と安田町の縁は、一番上の姉である千鶴の結婚で始まりました。儒学者である夫・高松順蔵は、現在の安田町役場のほど近くに住んでいた郷士です。居合術の達人で、歌や絵もたしなむ文化人であった順蔵。私塾を構え、中岡慎太郎や海援隊の石田英吉、天誅組（てんちゅうぐみ）の安岡斧太郎らが門下生として教えを学んでいます。

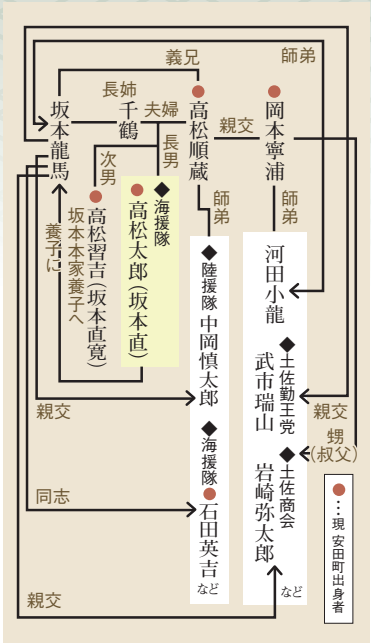
龍馬にとって、28歳と年の差が開いた義理の兄。「むしろ師として、若い龍馬の人間形成に与えた影響が大きかったのではないか」と話すのは、安田町の歴史に詳しい安田まちなみ雑踏衆会長で安田町文化財保護審議委員会委員長の竹内土佐郎さんです。

坂本龍馬像

岡本寧浦

石田英吉

▶龍馬をめぐる人々



「たびたび高松家に遊びに来ていたようですね。龍馬がもう一人の姉である乙女に宛てた手紙の中に、京都の常宿寺田屋は義理の兄順蔵の家に居るような気分であるという記述があるほどです」。国立京都博物館には江戸で剣術修行をする龍馬に千鶴がお守りを送った手紙も残り、姉弟の細やかな愛情がうかがえます。

竹内土佐郎さん

「高松順蔵と親交のあった年上の岡本寧浦も、安田町の出身です」。土佐勤王党の父といわれる岡本寧浦は、安田小学校の横にある乗光寺5代目住職の子どもでした。土佐藩屈指の儒学者で、弟子は武市瑞山や河田小龍、岩崎弥太郎ら千人を超え、明治維新に多大な影響を及ぼしました。「龍馬が維新で活躍できた理由のひとつは同志ら人脈に恵まれたこと。安田が縁となって築いた人脈が歴史を動かす礎（いしずえ）として大きな力になったのでしょう」。

それにしても、なぜ安田町が幕末、このような偉大な思想家たちを輩出できたのでしょうか？「江戸時代の安田周辺は藩校の田野学館や奉行所などがあり、政治や文化の要衝の地。そのような環境の中だからこそ、『この国は今のままではいけない』という機運が高まり、中芸地域に多くの思想家や志士らが登場したのだと思います」。

山下浩文さん

高松順蔵と千鶴の長男、高松太郎は叔父の龍馬とともに海援隊で活躍。龍馬の死後、養子として坂本直と改名し、家督を継ぎました。

「町では順蔵と千鶴の墓、そして岡本寧浦ゆかりの乗光寺を見ることができます」と、安田町教育委員会の山下浩文さん。教育委員会を中心に案内板などを整備し、安田町と龍馬のゆかりをわかりやすく紹介しています。

柏原邸住宅外観

大正生まれの瀟洒（しょうしゃ）な洋館 旧市川医院と柏原邸

来年春、修復を終え 国の登録有形文化財に

現在、修復が進められ、来年3月完成予定の柏原邸。町の人たちからは「市川医院」として親しまれた、なじみ深い建物です。

大正2年頃に建築。医院として使われていた離れは、西洋の様式が積極的に取り入れられた和洋折衷の設計。傾斜の急な正面玄関の小屋根などに、その特徴が表れています。一方、母屋は土佐の代表的な日本家屋で、どちらも文化的に貴重な建物です。

長く空き家になっていましたが、所有者から町に寄贈を受け、修復に着手。完成後は国の登録有形文化財として登録される予定です。「町づくりや文化おこしの拠点となる、町のすばらしい財産ができた」と、安田まちなみ雑踏衆の竹内土佐郎会長は喜んでいます。

旧市川医院外観

柏原邸住宅内観

柏原邸
住宅外観

町に創ろう！雇用と活力

安田町地域雇用創造協議会

安田町らしい新たな雇用の創出を目的に設立された地域雇用創造協議会。厚生労働省の委託を受け、地域提案型の雇用創造推進事業に取り組んでいます。平成20年度に設立。21年度から事業展開を開始しました。地域で盛んな農業などの一次産業を一・五次産業につなげることで地域の再生を目指します。また、観光振興と交流人口の拡大にも力を入れます。

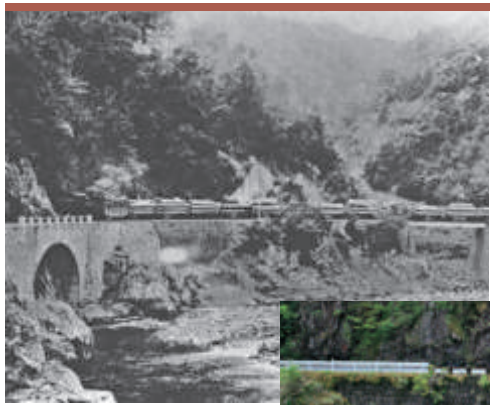
事業は、雇用のチャンスを増やすための人材育成などを行う「推進事業」と、特産品の開発などで新たな雇用の創出を目指す「実現事業」の2つ。すでにパソコン教室やボランティアガイドの講習会の開催など事業が展開されています。

推進員として「推進事業」に携わる西山雅人さんは、この春、安田町にUターンして帰ってきました。「女性や高齢者でも、働きたい、何かやりたいという高い意欲を感じる」と話します。初めてのパソコンでも抵抗なく「つつく」など、チャレンジ精神も旺盛。インターネットによる販路の開発など可能性が広がります。

学習会や講演を通じ、農家とビジネスを結びつけたいと西山雅人さん。町の魅力の掘り起こしなど、安田町だからこその働きがい、生きがいを創るための仕組みづくりが始まっています。

ホームページ「やすだじかん」
http://www.yasudajikan.com/

今と昔じゃあ風景もだいぶ変わったき、写真で案内するきね。



旧／釜ヶ谷桟道

現／釜ヶ谷桟道

旧／安田不動駅

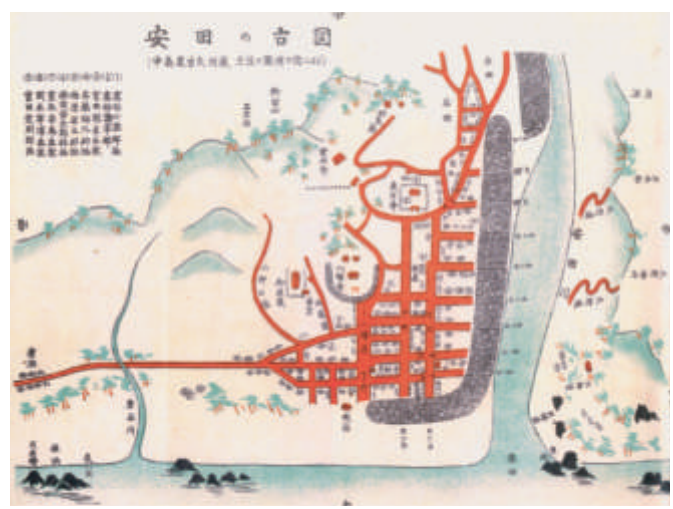
現／安田不動駅跡

旧／商店街

現／商店街

旧／安田の風景

現／安田の風景



安田の古図

野根山事件

幕末、土佐勤王党党首として尊皇攘夷運動を率いていた武市瑞山が、藩主・山内容堂の弾圧を受け、武市を含む一党が投獄されます。これを救おうと、23人の勤王の志士が野根山にこもったのが「野根山事件」です。このなかには、副首領の清岡治之助をはじめ、7人の安田町出身者が参加していました。野根山にこもったのち、藩の討伐軍から逃れて上方へと行こうとしたものの、宍喰で捕まり土佐に送還。奈半利河原で処刑されてしまいます。維新成立の陰には多くの若者たちの悲劇があったことを、野根山事件は物語っています。

安田町橋マップ

釜ヶ谷の滝
▲馬路村
①釜ヶ谷橋（国重文）
②釜ヶ谷桟道（国重文）
島石ピクニック広場
③島石吊り橋
④荒田橋
⑤キャンプ場吊り橋
安田川アユおどる清流キャンプ場
せせらぎの郷小川
川上神社
⑥田の尻橋
⑦明神口橋（国重文）
⑧与床橋
⑨ひうらばし
北寺国指定重要文化財仏像群（9体）
⑩正弘橋
⑪間内橋
中山支所
味工房じねん
ほたるの里河川公園
⑫小松橋
⑬焼山橋
⑭とうざいじまばし
二十三士副首領清岡治之助碑
桜の名所丸丁公園
大心劇場
西法寺
▼安芸市
とうのはま
文化センター
遊水
やすだ
中芸軍鶏組合安田場所
安田幼稚園・安田保育所
安田小学校
安田町役場
安田中学校
福祉館
輝るぽーと安田
旧市川医院・柏原邸
⑮新東西島橋
⑯安田川橋
⑰安田川大橋
たの
土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線
奈半利町▲

レストラン・ラポール
Restaurant Rapport

●輝るぽーと安田

岡林実シェフプロデュース。
“やさしい料理”の提供をモットーに、「ラポール（架け橋）」の名のとおり、地元の方や観光客と安田町を結ぶ架け橋のような存在の店にしていきます。

TEL.0887-38-5331
定　休　日:毎週水曜日
営業時間:9時～21時
（ラストオーダー20時30分）

安田町にまたひとつ魅力あふれるお店ができました。地場産品をうまく生かしたシェフのオリジナル料理をぜひ、お召し上がりください。

地場産品販売センター
「土佐の元気市」

TEL.0887-38-3320
定　休　日:毎月第3水曜日
営業時間:8時30分～18時

編・集・後・記

「龍馬伝」に向けて、龍馬ゆかりの安田町出身の偉人の特集を組みましたが、改めて高知出身の、そして安田町出身の偉人の多さに驚かされました。ぜひ、皆さんも地元ゆかりの偉人を調べてみてください。

お問い合わせは

安田町役場総務課

〒781-6421　高知県安芸郡安田町大字安田1850
TEL.0887-38-6711　FAX.0887-38-6780
HP　http://www.town.yasuda.kochi.jp/home.htm
E-mail　ysd-somu@town.yasuda.kochi.jp

安田町役場中山支所／〒781-6430　高知県安芸郡安田町大字正弘716-2
TEL.0887-39-2008　FAX.0887-32-4008

2009.11-2000